

総合事業を通じた取り組みについて

当JAは、農家組合員の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組んでいます。
このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの話し合いを深めます。
そして「総合事業経営」の強みを活かし、地域に必要とされるJAであり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく相互扶助の組織です。

そして、JAは、農業者（正組合員）と、農業者とともに地域農業を応援する地域住民（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。

農産物の販売事業や生産資材の購買事業、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を総合的に結びつけ、農家組合員の所得向上をはかるとともに、営農相談やくらしの相談活動を通じて、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

販売・購買事業だけでなく、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、地域農業を総合的に支援でき、また総合事業全体の収支のなかでJAを運営しているからこそ、経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資も可能となります。

JAは、これからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆さまとともに、地域の農業やくらしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。

組合員・地域の皆さまのお役にたてるよう、
これまでも、これからも、JAレーク大津は「総合事業」を展開します。